



子ども・子育て支援の取り組み 及び施設配置計画の概要について

令和5年3月
岡山市岡山っ子育成局こども園推進課

子育てをめぐる課題



課題 1

親の働く状況の違いにかかわらず、
質の高い幼児期の学校教育・保育を受けられることが
望まれてきました。



課題 2

核家族化や高齢化、
また地域での人間関係の希薄化などにより、
家庭や地域での子育て力が
低下していると
言われています。



課題 3

都市部を中心に保育所に入れない
待機児童が存在します。
一方、子どもの減少で、
近くに保育の場が
なくなった地域もあります。

子ども・子育て支援の取り組み（1）

1

**質の高い幼児期の学校教育・
保育を総合的に提供します**



幼稚園と保育所の良さをあわせ持つ【認定こども園】の普及を進めます。

2

**子育て相談や一時預かりの場を増やすなど、
地域の子育てを一層充実させます**

地域のニーズに応じた多様な子育て支援を充実させます。

子ども・子育て支援の取り組み（2）

3

待機児童の解消のため、保育の受入れ人数を増やします

市町村は、待機児童解消を計画的に進め、国もこれを支援します。

少人数の子どもを預かる保育などへの財政支援（地域型保育給付）を行います。



就学前の教育・保育施設

幼稚園と保育所の良さをあわせ持つ【認定こども園】の普及を図ります。

【地域型保育】によって待機児童の多い3歳未満児の保育の受け皿を増やします。

幼稚園

3～5さい



小学校以降の教育の基盤をつくるための幼児期の教育を行う学校

保育所

0～5さい



就労などのため家庭で保育のできない保護者に代わって保育する施設

認定こども園

0～5さい



教育と保育を一体的に行う施設

地域型保育

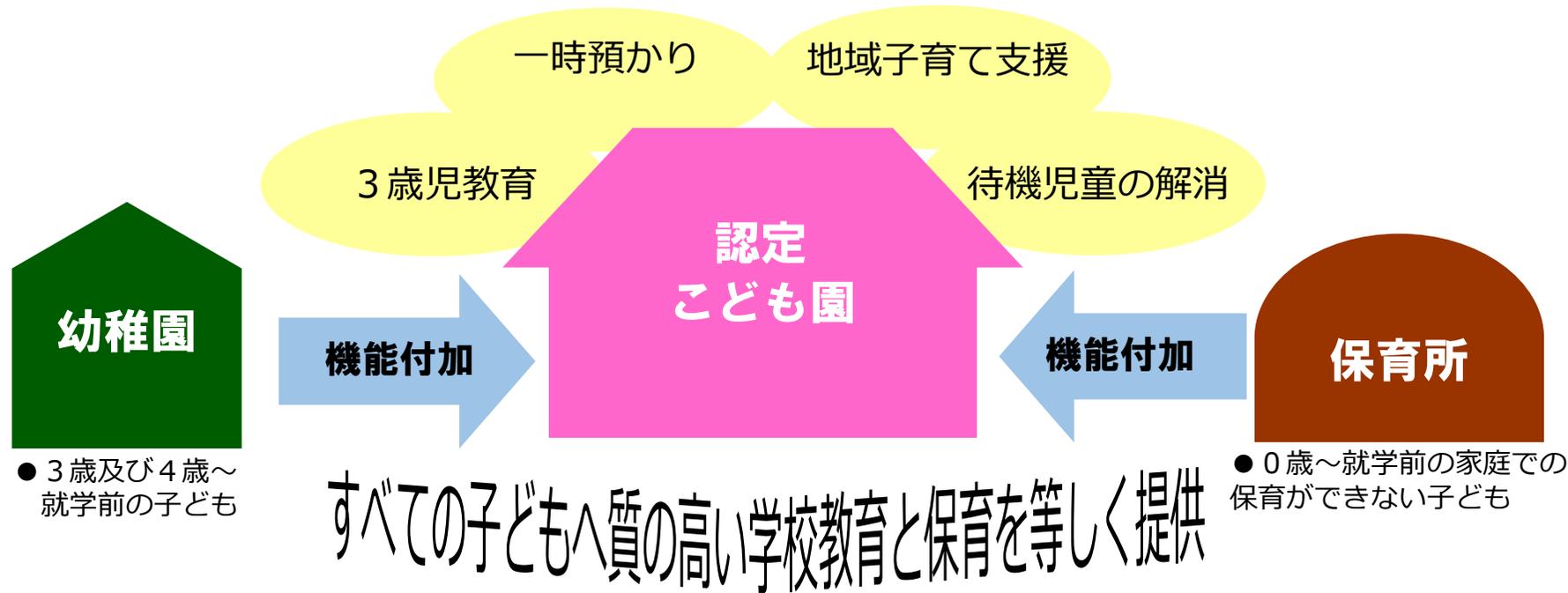
0～2さい



施設（原則20人以上）より少人数の単位で、0～2歳の子どもを預かる事業

幼保連携型認定こども園

Q : 幼保連携型認定こども園ってなあに？
A : 幼稚園と保育所の両方の良いところを活かし、「学校教育」「保育」「子育て支援」を総合的に提供できる施設です。
入園していない子どもたちの家庭も、子育て支援を受けることができます。



利用者負担（幼稚園・認定こども園）

1号認定 <幼稚園要件>

※私立については、子ども・子育て支援新制度に移行した教育施設について説明しています。

令和元年10月から幼児教育無償化により、満3歳児以上の利用料は無料となりました。なお、給食費、教材費等の経費については従来どおり支払う必要があります。

○給食費（副食費）について

私立幼稚園・認定こども園については各教育施設により取扱いが異なります。ただし、年収360万円未満相当世帯の子ども、第3子以降の子ども（小学校1～3年生及び認可保育所等に入所する兄弟が2人以上いる場合）については、副食費が免除されます。

利用者負担（保育所・認定こども園・地域型保育事業）

2号・3号認定 ＜保育園要件＞

令和元年10月から、3歳児クラスから5歳児クラスまでの幼稚園、保育園、認定こども園等を利用する利用料が無償化されました（教育利用の満3歳及び0歳児クラスから2歳児クラスまでの市区町村民税非課税世帯で保育園又は認定こども園（保育）、地域型保育事業を利用する児童を含む）。ただし、給食費や通園費、延長保育事業のほか、各園で徴収する実費費用は無償化の対象外です。

○給食費（副食費）について

認可保育園、認定こども園、地域型保育事業を保育認定（3歳以上児クラス）を受けて利用している場合、給食費（副食費）を施設へ直接支払っていただきます。ただし、年収360万円未満相当世帯の子ども及び第3子以降の子ども（小学校就学前の認可保育所等に入所する兄弟が2人以上いる場合）については、給食費（副食費）が免除されます。

給食費（副食費）の額、納付方法等については、各保育施設等にお尋ねください。

岡山市子ども・子育て会議

岡山市子ども・子育て会議「就学前教育・保育部会」を平成25年9月に設置。

- ①子ども・子育て支援事業計画の策定
- ②「公としての役割」を担う市立幼保連携型認定こども園などについて意見聴取を行っています。

【施設配置に関する主な意見】

- 保護者や地域の意見を十分に聴き、活かすべき
- 施設の場所よりも、保育の質や安全な保育環境の確保が気掛かり
- 教育・保育内容を施設整備とともに考えることが必要
- 子どもにとっての教育・保育の質を大切に考えて
- 幼保連携型認定こども園は、施設の大きいところが基本になる
- 3歳児教育の希望者ができるだけ入れる施設を考えて
- 未入園児童縮減や3歳児教育を考えれば、広さが条件



教育・保育提供区域の設定

教育・保育提供区域の設定

市町村が、「子ども・子育て支援事業計画」を策定する際、地理的条件、人口、交通事情その他社会的条件、教育・保育を提供するための施設の整備状況、その他の条件を総合的に勘案して定める地域

(参照：子ども・子育て支援法第62条第2項)

区域の設定例（検討案）

(1) 小学校区 (2) 中学校区 (3) 一定の人口規模となる小学校区の組み合わせ (4) 一定の人口規模となる中学校区の組み合わせ (5) 施設まで一定の距離に納まる地域 (6) 福社区〈6福祉事務所エリアごと〉
(7) 行政区〈4区役所エリアごと〉

子ども・子育て会議での意見聴取

「一定の人口規模となる小学校区の組み合わせ」とし、市内に30の教育・保育提供区域を設定

教育・保育提供区域一覽

教育・保育提供区域	小学校区	教育・保育提供区域	小学校区
中央1	岡南 清輝	北1	伊島 津島
中央2	御南 西	北2	野谷 馬屋上 横井
中央3	吉備 陵南	北3	御津 五城 御津南
中央4	大元 鹿田	北4	福渡 建部 竹枝
中央5	石井 三門 大野	北5	中山 平津 桃丘 馬屋下
中央6	岡山中央 牧石 御野	北6	足守 蛭明 鯉山 加茂 庄内
中1	三勲 宇野	東1	江西 千種
中2	高島 旭竜	東2	可知 古都 芥子山
中3	旭東 平井	東3	大宮 太伯 幸島 朝日
中4	竜之口 幡多 財田	東4	角山 城東台 御休 浮田 平島
中5	富山 旭操 操南 操明	東5	開成 政田 西大寺南 西大寺 豊 雄神
西1	妹尾 箕島 福田	南1	浦安 芳泉
西2	曾根 興除 東疇	南2	芳田 芳明
西3	第一藤田 第二藤田 第三藤田	南3	平福 福浜
西4	灘崎 七区 彦崎	南4	甲浦 小串 福島 南輝

就学前施設の現状

■ 幼稚園・認可保育園・認定こども園の施設数・入園児数

(単位) 園数：施設数、園児数：人

区分		市立 ※1	私立	国立	合計
幼稚園	園数	39	8	1	48
	園児数	1,347	1,397	135	2,879
保育園	園数	36	66	0	102
	園児数	3,092	8,289	0	11,381
認定こども園	園数	19	38	0	57
	園児数	3,089	5,564	0	8,653
合計	園数	94	112	1	207
	園児数	7,528	15,250	135	22,913

※1 休園中は含まず

幼稚園：令和4年5月1日現在、保育園・認定こども園：令和4年4月1日現在

■ 市立幼稚園・保育園・認定こども園の園児数の推移

(単位) 人

区分	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
幼稚園	3,668	3,304	2,911	2,167	1,725	1,347
保育園	4,865	4,077	3,885	3,335	3,309	3,092
認定こども園	1,000	1,786	1,935	2,796	2,909	3,089
合計	9,533	9,167	8,731	8,298	7,943	7,528

保育園等の入園状況

■過去5年間の入園状況の推移

(各年度4月1日現在)

(単位：人)

年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
定員数	16,016	17,261	17,973	18,820	18,870
入園申込児童数	17,464	18,284	18,716	18,875	18,884
入園児童数	16,017	16,817	17,330	18,039	18,256
未入園児童数	1,447	1,467	1,386	836	628
未入園児童数の内 待機児童数	551	353	259	31	8

■未入園児童とは

保育の必要性の認定（2号又は3号）がされ、特定教育・保育施設（認定こども園の幼稚園機能部分及び幼稚園を除く。）又は特定地域型保育事業の利用の申込みがされているが、利用していない児童。

■待機児童とは

未入園児童のうち、国の定義により待機児童に含めないこととされている児童を除いた児童。

就学前施設の現状と課題

◇保育施設

- (1) 就学前の子どもの人口は減少傾向だが、保育ニーズは増加傾向
- (2) 特別支援教育・障害児保育を希望する子どもの増加
- (3) 保育の受け皿整備が進み、平成31年度からは入園申込み数を受け皿数が上回る状況となっているが、保育士不足の影響などから待機児童の解消には至っていない

◇幼児教育施設

- (1) 幼稚園の入園児童数は減少傾向であり、小規模・過小規模園が増加し、集団教育が困難な施設が出てきている
- (2) 3歳児教育・預かり保育のニーズが増加

◇施設の老朽化

全体の施設の老朽化、耐震改修への対応
(全体の約7割以上が築後30年以上経過)

◇財政等の状況

- (1) 厳しい財政状態が今後も続くことが予想され、さらなる行財政改革が必要
- (2) 他の政令指定都市と比べて、公立施設の割合が大きい(歴史的な経緯)
- (3) 民間活力の積極的活用が必要

施設・環境の課題解決の方向性

■施設・環境の課題解決に向けた視点■

◇官民の役割分担

- 「民でできることは民に任せる」を基本に、多様で柔軟なサービスを提供
- 市有施設には、公として果たすべき役割を持たせ、質の高い教育・保育を提供

◇市民ニーズへの対応

- 民間活力の活用による施設整備で、受入れ枠を拡大
- 特別支援教育・障害児教育を希望する児童への支援体制を充実し、職員の対応能力を向上
- 認定こども園への移行を進め、教育・保育を等しく提供できる環境を整備
- 認定こども園で、3歳児教育・預かり保育等のニーズに対応
- 子育て相談や園行事への参加など、家庭・地域の子育て支援を充実

◇良質な成育環境の整備

- 教育環境を確保し、ゆとりある保育環境の整備
- 職員配置の充実
- 最適な施設配置により、入園児数が少ない施設の解消

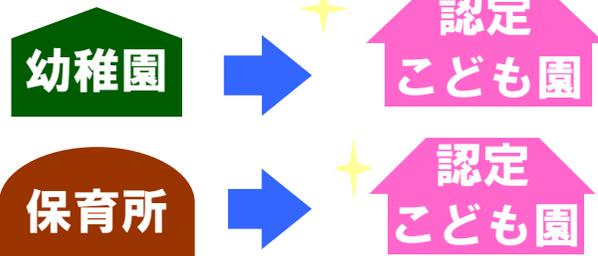
◇効率的な施設運営

- 認定こども園を整備することにより、施設環境の確保や効率的な運営が可能に

施設配置の最適化

- (1) 公としての役割を担う市立幼保連携型認定こども園を中学校区（市内36区域）ごとに整備
- (2) その他の市立施設は、区域内での人口バランスなどの地域事情や地域の声も踏まえて、民営化や統廃合も含めた今後の在り方を検討
- (3) 待機児童の解消に向けて、民間活力を活かした施設整備を推進

民営化によって、老朽化した施設を効率的に整備



統廃合によって、一定規模の子どもの集団を維持



民営化や統廃合によって生まれた人員や財源を今後の子育て支援の充実に充てる

施設選定における基準

選定基準 1

施設の状況（必要な施設規模）

①敷地面積 2000㎡以上 ②施設の定員 120人以上 ③保育室 5室以上

選定基準 2

設備の状況（必要な設備）

①エアコン設置の有無 ②調理室の有無

選定基準 3

入園児童数 20人以上（過去5年間平均、施設型給付基準）

個別事情

①建築後年数 ②耐震化の必要性 ③立地条件（居住人口、交通、災害）

※ 令和元年に抜本的な見直しを行い、候補園が2園ある中学校区及び整備エリアが教育・保育提供区域（30区域）から中学校区（36中学校区）に拡大することに伴い追加となった6中学校区については、新たに項目を追加した選定基準（就学前人口、園庭の面積等）で候補園の選定を行っています。

中学校区ごとの市立幼保連携型認定こども園及び候補園

教育・保育 提供区域	中学校区	認定こども園 (候補園)	教育・保育 提供区域	中学校区	認定こども園 (候補園)	教育・保育 提供区域	中学校区	認定こども園 (候補園)
中央1	岡輝	岡南認定こども園	北1	京山	伊島認定こども園	中1	操山	宇野認定こども園
中央2	御南	今認定こども園	北2	香和	(野谷保育園・野谷幼稚園)	中2	高島	旭竜認定こども園
中央3	吉備	陵南認定こども園	北3	御津	御津金川認定こども園	中3	東山	(旭東保育園)
中央4	桑田	鹿田認定こども園	北4	建部	建部認定こども園	中4	竜操	(幡多幼稚園)
中央5	石井	(巖井保育園)	北5	中山	中山認定こども園	中5	富山	(富山幼稚園)
中央6	岡山中央	南方岡山中央認定こども園	北6	足守	(足守幼稚園・大井保育園)		操南	(操南幼稚園)
	岡北	(御野幼稚園・津島保育園)		高松	庄内認定こども園	東1	瀬戸	千種認定こども園
西1	妹尾	妹尾認定こども園	南1	芳泉	(浦安幼稚園・芳泉幼稚園)	東2	旭東	(芥子山幼稚園・可知保育園)
	福田	(福田幼稚園)	南2	芳田	(芳田幼稚園)	東3	山南	太伯認定こども園
西2	興除	興除認定こども園	南3	福浜	(福浜幼稚園・平福保育園)	東4	上道	(平島幼稚園)
西3	藤田	錦認定こども園	南4	光南台	甲浦認定こども園	東5	上南	(政田幼稚園・開成幼稚園)
西4	灘崎	灘崎認定こども園		福南	(南輝保育園)		西大寺	(西大寺幼稚園・西大寺保育園)

市立幼保連携型認定こども園の整備状況

開園年度	園名	所在地	利用定員	対象年齢・開所時間	備考
平成27	中山認定こども園	北区一宮638-3	210人	6か月～ 就学まで 7:30～ 18:00 ※灘崎認定こども園 7:00～18:00 (延長保育 19:00まで)	
平成27	御津金川認定こども園	北区御津金川476	150人		子育て支援センター
平成27	太伯認定こども園	東区神崎町22-1	150人		
平成27	灘崎認定こども園	南区片岡188	240人		障害児保育拠点園
平成28	岡南認定こども園	北区七日市西町1-14	210人		障害児保育拠点園
平成29	建部認定こども園	北区建部町市場330	105人		
平成30	南方岡山中央認定こども園	北区南方一丁目3-30	280人		子育て支援センター
平成30	千種認定こども園	東区瀬戸町万富639-1	150人		
平成30	甲浦認定こども園	南区飽浦322-1	170人		
平成30	興除認定こども園	南区中畦645-11	180人		
平成30	錦認定こども園	南区藤田610-11	205人		
平成31	伊島認定こども園	北区いずみ町9-18	230人		
令和2	今認定こども園	北区今七丁目16-43	235人		
令和2	鹿田認定こども園	北区大供表町16-10	320人		
令和2	宇野認定こども園	中区西川原351-12	250人		障害児保育拠点園
令和2	旭竜認定こども園	中区高島一丁目5-7	235人		
令和3	陵南認定こども園	北区東花尻266-1	215人		
令和4	庄内認定こども園	北区三手15-1	205人		
令和4	妹尾認定こども園	南区箕島1024-2	215人		

【市立幼保連携型認定こども園での取組】

- ◇3歳児教育の拡充 : 1号認定の3歳児の受入れ
- ◇一時預かりの実施 : 1号認定の一時預かりを実施〔長期休業を除く平日の月～金、降園後から16時まで、1回あたり500円(2人目以降250円)＋おやつ代100円〕
- ◇給食の提供 : 1号認定への給食の提供(1か月3,000円×10か月)※主食(ごはん)は持参
- ◇延長保育の実施 : 2号・3号認定の延長保育を実施
(保育標準時間の認定を受けた方の場合、19時まで月額2,500円)

これまでに運営移管した施設及び今後運営移管予定の施設

園名	中学校区	移行前	運営法人
江西桜こども園	瀬戸	江西幼稚園・かたせ保育園（私）	社会福祉法人 桜会
弘西こども園	岡山中央	岡山中央幼稚園・弘西保育園（私）	社会福祉法人 なかよし会
認定こども園 白ゆりの丘	香和	休園中の馬屋上幼稚園	社会福祉法人 白ゆり会
高島おひさまこども園	高島	高島幼稚園	学校法人 大森学園
古都こども園	旭東	古都幼稚園	社会福祉法人 ちとせ交友会
浮田とちのみこども園	上道	浮田幼稚園	社会福祉法人 のぞみ会
原尾島こども園	操山	宇野幼稚園	社会福祉法人 ちとせ交友会
（仮）大元こども園	桑田	大元幼稚園	社会福祉法人 東光会（R6.4開園予定）
（仮）豊こども園	西大寺	豊幼稚園・豊保育園	社会福祉法人 旭東愛児会（R6.4開園予定）
（仮）つきのさとこども園	西大寺	西大寺南幼稚園・金岡保育園	社会福祉法人 ちとせ交友会（R6.4開園予定）
（仮）東岡山IPUこども園	竜操	財田幼稚園・財田保育園・乙多見保育園・神下保育園	社会福祉法人 元気の泉（R6.4開園予定）
（仮）加茂こども園	高松	加茂幼稚園	社会福祉法人 梁和会（R7.4開園予定）
（仮）みなん馬屋下こども園	中山	馬屋下幼稚園	社会福祉法人 橘会（R7.4開園予定）

認定こども園での1日の生活の流れ

※市立幼保連携型認定こども園の場合

時刻	0・1・2歳児	3・4・5歳児	
	3号認定子ども	1号認定子ども	2号認定子ども
7:30	○順次登園する		○順次登園する
8:30	○好きな遊びをする	○順次登園する	
9:00		○好きな遊びをする	
9:30	○おやつを食べる ○発達に応じた遊びをする	○休息する	
10:30		○組、学年、異年齢児等で活動する	
11:00	○給食を食べる	○給食を食べる	
11:30			
12:00	○午睡をする	○つどいをする	
13:00			○午睡（休息）をする
14:00		○降園する	
15:00	○おやつを食べる ○好きな遊びをする ○順次降園する	○一時預かり (希望者に対し、16時まで)	○おやつを食べる ○好きな遊びをする ○順次降園する
18:00	○延長保育		○延長保育
19:00			



【問い合わせ先】

岡山市 岡山っ子育成局 保育・幼児教育部

こども園推進課

TEL : 086-803-1430

FAX : 086-803-1720